



公益社団法人 大分県建築士会中津支部

中津市中央町1丁目5-24 (株) 中津建築会館内

TEL(0979)24-3597 FAX(0979)-24-7320

<http://kentikuzi-nakatu.net/> mail:n-shikai@estate.ne.jp

新しくなった中津支部のホームページでは、新鮮な情報常に発信しています。どうぞご覧下さい。

建築士会中津

検索



事務局だより

「はやばやと秋の気配が忍び寄り、夏のいぬまに栗・きのこ」

白蓮ならぬひさ蓮

熱いコーヒー入ってます。お立ち寄りください。



士会新聞 Vol.30

H26.9

建築士 Architect

なかつ

平成26年度 建築士会中津支部 通常総会

平成26年5月30日(金) 17:15~「平成26年度 建築士会中津支部 通常総会」が、中津市教育福祉センターにて行われました。

議題として

1) 25年度事業報告及び収支決算報告ならびに監査報告

2) 26年度事業計画及び収支予算案について

が審議されました。質疑応答のあと、満場一致で承認されました。その後、役員改選が行われ、新三役が選任されました。

【新三役】

支部長：富部 直

副支部長：喜多嶋 茂

中尾 忠廣

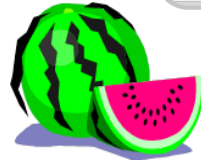
【青年部新三役】

青年部長：是本 昭善

副青年部長：佐藤 博昭

松山 桂嗣

会終了後、会場を「ちゃんこ谷嵐」に移動し、懇親会が行われました。



建築士会九州ブロック研究集会「建築士の集い」長崎大会inしまばら

平成26年6月28日(土)「建築士会九州ブロック研究集会「建築士の集い」長崎大会inしまばら」が島原復興アリーナで開催されました。

われわれ中津支部からは、6名が参加してきました。前年度は大分県の担当で開催された大会で、その関係もあり今回は楽な気持ちで参加させていただきました。

中津支部から参加の6名は、第一分科会の「地域実践活動 テーブル討議」に6名それぞれが別々の県の発表に入り、意見交換をしてきました。どの県に於いても、いろいろなテーマの中から地域の人たちとの「ふれあい」を見つけ出し、

地域の人たちの意見を取り入れ活発な活動を行っていました。

わが中津支部に於いてもこのような活動を取り入れていこうと、参加者6名の共通の課題ができました。今回学んだことを、これからの活動に生かしていこうと思います。

追伸 日程は、行きは高速道・帰りはフェリーを利用し熊本廻りで日帰りの強行日程でした。ですが、みなさん、とても楽しいイベントです。このようなイベントに参加し、自分のスキルアップを図り、楽しく建築士会中津支部で活動を行っていきましょう。



水曜喫茶室 省エネ勉強会

平成26年6月11日(水)、8月27日(水)の2回にわたり「省エネ基準の概要と窓の運用について」の勉強会が行われました。

講師として、YKK AP(株)開発本部商品開発部 SEグループ西日本SE室の村川氏に来て頂き、両日ともに、3時間みっちり勉強しました。

参加者は1回目は、10名、2回目は、7名の参加者で、改正省エネ基準の運用を目前に真剣な眼差しで聞き入りました。講師の村川氏は、私たちの質問に一つ一つ丁寧に答えて下さったので、この制度の仕組みや目的といった部分まで理解できたと思います。また、今更聞けないサッシの事

(耐風圧、水密性、遮音性など)についても深く聞くことが出来ました。

建築業界に対するエネルギー削減は、日本にとって国際的にも避けては通れない状況になっています。今後省エネに対する規制は益々厳しくなると思うので、早い段階で制度の基本的な知識を身に付けなくてはいいけませんね。

また、いろいろな内容の勉強会を開催計画中です。「〇〇のことについて勉強したい」・「〇〇さんのお話を聞いてみたい」など等、みなさんご意見があれば事務局にご連絡をしてください。いろいろな勉強会を、開催していきましょう。



折り紙建築教室「職人フェスティバル」

平成26年7月13日(日) 職人フェスティバルがダイハツ九州アリーナで開催され、我々青年部は今年も折り紙建築で参加しました。

「子供達が建築に対して少しでも興味と親しみを持ってもらい、建築士が将来の夢の一つになれば」という目的でブースを出展しました。

当日は暑い中、職人さんたちのブースは去年よりも出展数が増えて、多くの来場者で大盛況でした。折り紙建築ブースも、開店早々子供たちに大人気で、息をつく間もないほどの多くの来場者に大忙しでした。



左官工事体験

平成26年7月11日(金) 地域の小学生による「左官工事(石畳の目地塗)体験」が、NPO法人中津まちなみ会とともに南部まちなみ交流館にて行われました。

近年の建築現場でなかなか見られなくなった左官工事を交流館の石畳整備(目地塗)を通して体験するとともに、築200年の建物について、地域の宝として愛着をもってもらうことを目的として開催されました。左官指導は、以前金谷の土塀づくりでもお世話になった古後氏(日田市)にお願いしました。

わたしの作品

この建物は、木組みに金物などを使用しない真壁造りの伝統工法を採用した住宅用倉庫です。基礎部分には、石場建て構法を採用したかったのですが、おさまりの関係上やむなく鉄筋コンクリートのべた基礎を採用しました。

構造的には、長柵・差鴨居・貫・土壁により水平方向の力に抵抗し、また、折置組として桁上部まで柵を通し、長さ8.5mの一本ものの牛梁と梁・登

私は、趣味の茶道を通して木造建築に興味を持ちました。ほんの4畳半程の空間に、お茶を点て、客をもてなす機能がすべて詰め込まれていたからです。この侘びの美しさこそ日本が古来から育んできた独自の建築文化の良い所であると思います。

茶室のような使いやすい機能的な建築によるまちづくりが夢です。木造建築に限らず、多くのことを学びたいと思っています。様々な分野の方々と情報交換し、建築士会と共に成長できるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



まず建物の説明を市の担当者が行ったあと、ミキサーでモルタルを作り、それを石畳の間に詰めて石が動かないように固定する作業を体験してもらいました。

子供たちは、初めはぎこちない手つきでしたがすぐに要領をつかみ、手際よく作業をこなしていました。みんな楽しそうでした。

当日は、テレビ局や新聞社が取材に来ており、夜のニュースで放送されました。



梁を組み合わせることで、壁の無い通りの倒れを拘束しています。



牛梁は、携帯電話のアンテナを建てる為に伐採された桧材。梁・登梁は、火入れの中で邪魔になっていた杉の根曲り材です。どちらも原木市場には出てこない材なので皮を剥いてとっておいたのですが、今回見事に活躍してくれました。

設計・施工 橋本総合建設 橋本洋一 <http://arch.x0.com/hashimoto-sk>



近隣合同青年部懇親会

平成26年8月29日(金)に「『夏の合同親睦会』with 宇佐・中津・豊前の青年部」を開催しました。

今回は、「近隣エリアの青年部・女性部の仲間を交え、さらなる交流を深めて活性化に繋げたい」との企画で、中津支部：9名、宇佐支部：6名、豊前：3名の総勢18名で、盛大かつ楽しいノミネーションを開くことができました！参加して下さい皆様、お疲れ様でした！

今後も、このような交流の場を作って行きたいと思います。



今回、都合により参加できなかった皆様におきましても、次の機会にふるって参加をしていただき、会員皆様の親睦を深めていきましょう。

